

学生による団地リノベ合戦報告会

都市住宅学会関西支部
住宅団地のリノベーション研究委員会

現在、都市機構西日本支社を中心とするチームが実施した向ヶ丘第一団地でのストック活用実証試験の成果の公開が行われ、関心を呼んでいます。都市機構だけでも 70 万戸以上の集合住宅ストックを抱え、今後この様なストックの活用方法が課題となります。その方法としては、賃貸住戸を住民が改修する、あるいは民間が住棟を引き受けて改修するといった方法も、大きな柱になると見えられます。

そこで、関西の 7 大学・8 学部の学生が、都市機構が管理されている枚方市の中宮第一団地のテラスハウスを借用して、既存の住棟住戸の改修実験を実施しています。この成果を報告し、また相互に討論しあう会を、以下の様に開催いたします。なお、同報告会に先立ち、現地でオープンハウスを 10 月 18 日～22 日の間に実施する予定です（詳細は後日決定次第お知らせします）。

主 催：都市住宅学会関西支部 住宅団地のリノベーション研究委員会

日 時：2010 年 10 月 23 日（土） 13:00～17:00 時

場 所：大阪工業大学大宮キャンパス 1 号館 2 階多目的室 1～3

（正門すぐ左横の道路に面した建物の 2 階）

定 員：160 名

参加費：無料（参加登録不要）

プログラム

1. 基調講演 大阪市立大学名誉教授 住田昌二先生 13 時～13 時 30 分
仮題「これからのお住環境再生とストック活用」

2. 住戸改修の成果発表 13 時 30 分～15 時 30 分 各発表 15 分
・武庫川女子大学 生活環境学部生活環境学科
・関西大学 環境都市工学部建築学科
・京都工芸繊維大学 工芸科学部建築造形部門
・大阪市立大学 工学部建築学科
・大阪大学大学院 工学研究科地球総合工学専攻建築工学部門
・神戸芸術工科大学 環境・建築デザイン学科
・大阪工業大学 工学部建築学科
・大阪市立大学 生活科学部居住環境学科
(順不同)

休憩：15 時 30 分～15 時 45 分

3. 学生によるパネルディスカッション 15 時 45 分～17 時

テーマ：仮題「若者が見る接戸型住戸の魅力とストック活用の将来性」

進行役：学生+リノベーション研究委員会メンバー

パネリスト：各大学学生代表 1 名